

鶴川図書館を鶴川団地センター商店街の中に存続させることを求める請願

<請願趣旨>

図書館は身近にあってこそ、子どもからお年寄りまで多くの市民が利用できるという認識に基づいて、2016年度までの5か年計画で6館から8館への増館が実施されました。しかし、今回公表された「町田市5ヶ年計画17-21」並びに「公共施設再編計画(案)」の図書館の項には、複数の図書館が重複して配置されている町田駅周辺と鶴川駅周辺で、集約の検討が挙げられています。

鶴川図書館は、鶴川団地センター商店街の中にあります。町田市都市計画マスタープランでは、鶴川駅周辺再整備基本方針案には鶴川団地と周辺地区再生方針が挙げられ、そのなかで多世代が一緒に住める街づくりの3本の柱に、①安心して子育てができる ②鶴川団地と周辺地区全体での魅力づくり ③高齢者が楽しく暮らせる が掲げられています。さらに、鶴川団地の再生事業は、上記「5か年計画17-21」の重点事業の「団地再生の推進」プロジェクトの対象にもなっています。

鶴川図書館は郵便局と共に鶴川団地センター商店街の中にあつて、お年寄りも歩いて行くことができ、商店街に囲まれた「太陽の広場」で小さい子どもも安心して遊ぶこともできるというとてもよい環境にあります。図書館を含む商店街は、すでにこのままで多機能多目的の施設になっています。実質無料の駐車場も利用できるこのような図書館は、上記の街づくりの3本柱になくはならないものです。

商店街の建物は3年後に建て替えを計画しており、私たちはその中に文化の拠点として鶴川図書館を入れる要望を、UR都市機構を通して市に提出しています。要望には、貸し出しだけでなく、滞在型の図書館を目指して、サロンのようなスペースの確保も含めています。団地建て替えという絶好の機会をとらえて、ぜひ住民の切なる声に耳を傾け、鶴川図書館を存続させることで団地と商店街をさらに元気にするために、次の項目を実施して下さるよう請願します。

<請願項目>

1. 鶴川図書館を鶴川団地センター商店街の中に存続させてください。
2. 鶴川団地センター街の建て替えの計画に図書館をより良いかたちで入れてください。